

Le Fort I 型骨切り術後の骨癒合についての検討

1. 研究の対象

2014年6月から2018年4月までに顎変形症の診断のもと Le Fort I 型骨切り術および両側下顎枝矢状分割術による上下顎移動術を施行した患者 51 例（男性 23 名，女性 28 名）を対象とする。

2. 研究目的・方法

目的：顎変形症に関する Le Fort I 型骨切り術にてプレート固定後の上顎骨の骨癒合状態について，骨移植の有無による骨形成を比較検討する。

方法：上顎骨の水平的な移動量が 0-3mm 未満，3-5mm 未満，5mm 以上必要だった 3 群に分け，骨接合部に骨移植を行った群と行わなかった群で，術後 1 年の CT 写真およびプレート除去時の所見より，梨状口側縁，上顎前壁，頬骨下稜部における骨癒合の有無を評価し，それぞれの部位で，骨癒合している場合には 1 点，骨癒合が見られない場合は 0 点とし，6 点満点で評価し後ろ向きに検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

Le Fort I 型骨切り術後の骨癒合状態についてレントゲン，CT 画像，手術所見等より検討する。

カルテ番号，生年月日，イニシャル，病理検体番号などの個人を特定しうる情報は一切記載しない。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また，試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので，下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし，すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報や，試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが，公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：以下に記載

資料 3

研究責任者：済生会横浜市南部病院 口腔外科 青木紀昭

住所：〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10

電話番号：045-832-1111

-----以上